

## 令和4年度

### 第3回 帯広市地域公共交通活性化協議会 次第

日時：令和4年7月22日（金）13時30分～

場所：帯広市役所 議会棟3階 全員協議会室

#### 1 開 会

#### 2 会長挨拶

#### 3 アドバイザー挨拶

北海道大学大学院 公共政策学連携研究部 岸 邦宏 教授

#### 4 議 事

##### (1) 報告事項

- ・報告第1号 帯広市における新たな地域公共交通維持確保に向けた取組について

##### (2) 協議事項

- ・議案第1号 市内公共交通の維持確保に向けた取組について
- ・議案第2号 帯広市地域公共交通計画策定に向けた調査の実施について

##### (3) その他

#### 5 閉 会

#### 《配付資料》

資料1 出席者名簿

資料2 令和3年度地域新MaaS創出推進事業 事業概要（経済産業省資料）

資料3 令和4年度地域交通共創モデル実証プロジェクト 事業概要（国土交通省資料）

資料4 令和4年度 市内公共交通の維持確保に向けた取組について（案）

資料5 帯広市地域公共交通計画策定調査委託業務 実施内容（案）

資料6 令和4年度 帯広市地域公共交通計画策定スケジュール（予定）

【参考】おびひろバスマップ（令和3年7月1日版）

## 令和4年度 第3回帯広市地域公共交通活性化協議会 出席者名簿

| 所 属                                     | 職 名              | 氏 名   | 備 考          |
|---|------------------|-------|--------------|
| 北海道大学大学院 公共政策学連携研究部                     | 教授               | 岸 邦宏  | アドバイザー       |
| 十勝バス株式会社                                | 取締役執行役員<br>事業本部長 | 長沢 敏彦 |              |
| 北海道拓殖バス株式会社                             | 業務部長             | 小森 明仁 |              |
| 大正交通有限会社                                | 代表取締役            | 道見 誠一 |              |
| 毎日交通株式会社                                | 専務取締役            | 千葉 和也 |              |
| 北海道旅客鉄道株式会社<br>釧路支社 帯広駅                 | 駅長               | 石崎 雅史 |              |
| 十勝地区バス協会                                | 事務局              | 近藤 薫  |              |
| 十勝地区ハイヤー協会                              | 専務理事             | 塚本 俊二 |              |
| 帯広市町内会連合会(住民代表)                         | 副会長              | 齊藤 雅俊 |              |
| 北海道運輸局 帯広運輸支局                           | 首席運輸企画専門官        | 酒井 啓友 |              |
| 北海道地方交通運輸産業労働組合協議会<br>十勝地区交通運輸産業労働組合協議会 | 議長               | 久保 真司 |              |
| 北海道 十勝総合振興局<br>地域創生部 地域政策課              | 主幹               | 山田 貴弘 | 監査           |
| 帯広開発建設部 道路計画課                           | 課長               | 大江 祐一 |              |
| 帯広警察署 交通第一課                             | 課長               | 桐山 知彦 |              |
| 帯広市 都市環境部                               | 部長               | 和田 亮一 | 会長           |
| 帯広市 経済部観光交流室                            | 室長               | 加藤 帝  |              |
| 帯広市 学校教育部教育総務室                          | 室長               | 村木 章純 |              |
| 帯広市 市民福祉部地域福祉室地域福祉課                     | 課長               | 永田 敏  |              |
| 帯広市 市民福祉部福祉支援室介護高齢福祉課                   | 課長               | 佐藤 克己 |              |
| 帯広市 経済部商業労働室商業労働課                       | 課長               | 鳥本 貴敬 | 代理出席<br>野崎係長 |
| 帯広市 都市環境部環境室環境課                         | 課長               | 西島 新一 |              |

|                                |     |        |  |
|--------------------------------|-----|--------|--|
| 【事務局】<br>帯広市 都市環境部 都市建築室 都市政策課 | 室長  | 篠原 祥一  |  |
|                                | 課長  | 岡田 剛   |  |
|                                | 係長  | 涌井 一憲  |  |
|                                | 主査  | 千葉 香織  |  |
|                                | 主任  | 屋仲 聡一郎 |  |
|                                | 主任  | 豊田 有   |  |
|                                | 主任補 | 川筋 亮賀  |  |

# 令和3年度 地域新MaaS創出推進事業

- 令和3年度におけるMaaS実証では、地域の移動課題の解決に向けて、A～Eの5つの要素について、前年度の課題や地域の特性を踏まえ、更なる高度化に取り組む。また、こうした取組を全国に展開するため、データの活用・連携、人材の確保、マッチング機能の強化、持続性の確保といった横断的な視点からの検討を併せて行う。

## MaaS実証に向けた5つの要素による取組事例 ※()内の自治体は、令和3年度の選定地域

### A：他の移動との重ね掛けによる効率化

#### 限られたリソースを複数の用途・事業者で活用

- 自動運転車両を活用した貨客混載サービスの提供（春日井市）
- 福祉車両の非送迎時間を活用した移動支援・食事配達による収益獲得（仙台市・三豊市）
- 企業・スクールバスの行政サービスへの集約（基山町）



### B：モビリティでのサービス提供

#### サービスのモビリティ化により効率化を図る

- 旅客バスの改造、マルチ機能の付加による収益多角化・向上効果の検証（帯広市）
- 複数自治体をまたいだ広域医療サービスの開発（三重県6町）



### C：需要側の変容を促す仕掛け

#### 時間帯・需要に応じた行動変容を促すことで、地域経済を活性化

- サブスク運賃の最適価格の探索（美郷町）
- 需要・供給側双方に働きかけたモビリティサービス水準の探索（室蘭市）
- レンタカー・航空機の接続最適化（北谷町）
- 都市部における来店予約等を活用した来訪ピークシフトの効果検証（大阪市）

### D：異業種との連携による収益活用・付加価値創出

#### 異業種との連携により、新しい複合サービスを提供

- レシート情報を活用した成功報酬型広告収入モデルの実装（会津若松市・日立市）
- 商業施設に加え、オフィスや研究機関とも連携したモビリティサービス提供の仕組み検証（播磨科学公園都市）

### E：モビリティ関連データの取得、交通・都市政策との連携

#### モビリティ・異業種データを取得・可視化し、より効率的な移動を実現

- コネクテッドカーの普及に備えた、走行データを活用したドライバー（自家用有償）の質担保に向けた検討の実施（永平寺町）
- 交通サービス等の提供で得られた移動・健康データを活用した政策間の連携可能性の検証（入間市）

4つの観点を含めた横断的分析の実施

## 分野・地域横断的に取り組む4つの観点

①データの活用・連携基盤の構築

②必要な人材の確保

③マッチング機能の強化

④取組の持続性の確保

# 共創モデル実証プロジェクト(共創による地域交通形成支援事業)

- **交通を地域の暮らしと一体で捉え、行政や金融機関と連携して取り組む、様々な分野（エネルギー、医療、教育など）との垣根を越えた「共創型交通」のプロジェクトに対し、実証運行等への予算補助や助言、ウェブサイトへの掲載等を通じた伴走支援を行いつつ、事業スキームの構築やファイナンスに係る課題を整理、横展開を目指す。**

## 共創モデル実証プロジェクト

- 交通を地域の暮らしと一体として捉え、その維持・活性化を目的として、複数の主体が連携して行う取組を支援。
- 実証運行の経費等を補助するとともに、**実地伴走型のフォローを行うことにより、課題等を整理し、横展開をすることで、地域交通の持続可能性と利便性を高めることを目指す。**

2022.4~5 - 2022.6 → ~2023.3

公募

選定

実証事業

### 【採択事業へのサポート】

#### 1. 事業費用の2/3を補助

補助対象経費に対し、2/3（上限2,000万円）を補助。

#### 2. 伴走支援（運輸局の助言、ウェブサイトでの周知等）

採択事業については、運輸局で適宜フォローするとともに、ウェブサイトへの掲載等を通じ、積極的に周知を行う。

### 【参考：特設ウェブサイト】

地域交通 共創

検索

URL：  
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/kyousou/index.html>



## 共創プラットフォーム

分野の境界を越えた地域の暮らしのためのプロジェクトを担う連携スキーム



医療×交通



介護×交通



エネルギー×交通



住宅×交通



教育×交通



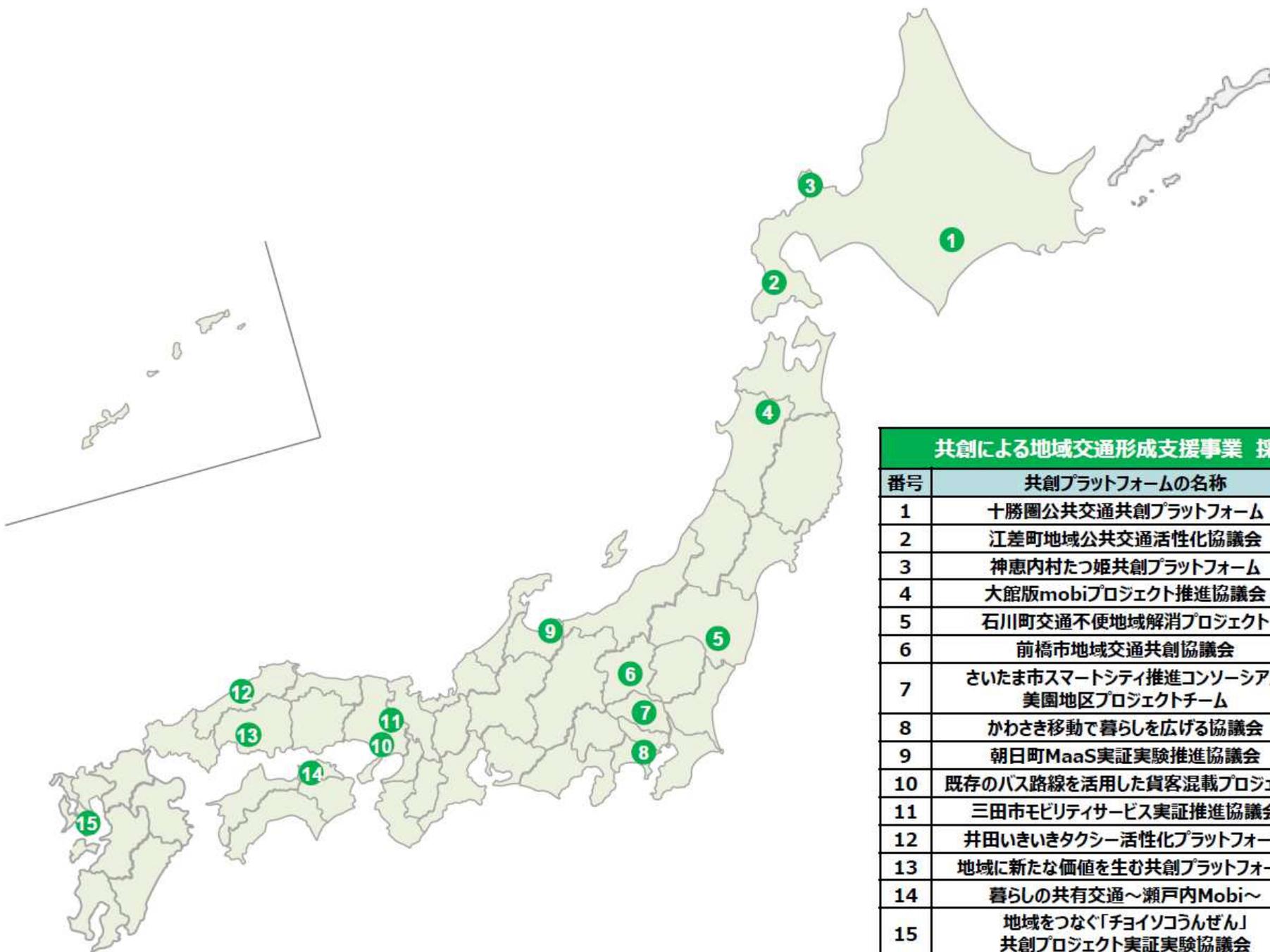
農業×交通

事業に関与

立ち上げ支援

自治体・金融機関

共創モデル実証プロジェクト



| 共創による地域交通形成支援事業 採択案件 (全15件) |  |          |
|-----------------------------|--|----------|
| 番号                          | 共創プラットフォームの名称                          | 事業実施地域   |
| 1                           | 十勝圏公共交通共創プラットフォーム                      | 北海道帯広市   |
| 2                           | 江差町地域公共交通活性化協議会                        | 北海道江差町   |
| 3                           | 神恵内村たつ姫共創プラットフォーム                      | 北海道神恵内村  |
| 4                           | 大館版mobiプロジェクト推進協議会                     | 秋田県大館市   |
| 5                           | 石川町交通不便地域解消プロジェクト                      | 福島県石川町   |
| 6                           | 前橋市地域交通共創協議会                           | 群馬県前橋市   |
| 7                           | さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム<br>美園地区プロジェクトチーム | 埼玉県さいたま市 |
| 8                           | かわさき移動で暮らしを上げる協議会                      | 神奈川県川崎市  |
| 9                           | 朝日町MaaS実証実験推進協議会                       | 富山県朝日町   |
| 10                          | 既存のバス路線を活用した貨客混載プロジェクト                 | 兵庫県神戸市   |
| 11                          | 三田市モビリティサービス実証推進協議会                    | 兵庫県三田市   |
| 12                          | 井田いきいきタクシー活性化プラットフォーム                  | 島根県大田市   |
| 13                          | 地域に新たな価値を生む共創プラットフォーム                  | 広島県熊野町   |
| 14                          | 暮らしの共有交通～瀬戸内Mobi～                      | 香川県三豊市   |
| 15                          | 地域をつなぐ「チョイソコうぜん」<br>共創プロジェクト実証実験協議会    | 長崎県雲仙市   |

## 令和4年度 市内公共交通の維持確保に向けた取り組みについて（案）

※資料中、《継続》は過年度から継続実施している取組を表す。

## 【1】公共交通のサービスレベルの向上

## 1 市内バス路線及びダイヤの見直し

## 【実施済路線】

| 路線名              | 運行事業者 | 実施内容   |
|------------------|-------|--|
| おでかけ楽々便（おおぞらいナー） | 十勝バス  | 運行区域を拡大するとともに、AI オンデマンドシステムを導入した実証運行を開始。<br>※R4.4.1 実施 |

## 【実施検討路線】

| 路線名         | 運行事業者 | 実施内容                            |
|-------------|-------|---------------------------------|
| （帯広厚生病院経由便） | 拓殖バス  | 帯広厚生病院運行便及び病院内への乗り入れについて検討。（継続） |

※帯広市を含む複数市町村を運行する路線のうち、主に市外運行部分に関わる変更については記載省略。

## 2 定時性の確保等に向けた取り組み

- ・冬期間の道路管理者への除雪対策の要望や、遅延発生路線への代替便による対応を実施。《継続》【十勝バス・拓殖バス】
- ・冬期間の通勤時間帯における渋滞緩和に向けた、エコ通勤やノーカーデーの取組を実施。《継続》【十勝バス・拓殖バス】
- ・降雪時に遅延が発生しやすい区間等について、状況に応じたダイヤの見直しを実施。《継続》【拓殖バス】
- ・バスロケーションデータを用いた定時性の確認作業の実施。【拓殖バス】

## 3 バス待合環境の改善に向けた取り組み

- ・イトーヨーカドー帯広店内にデジタルサイネージを設置。（※R4.5.19 実施）【十勝バス】
- ・郵便局や商業施設等におけるバス待合スペースの設置や、時刻表・案内表示の充実に向けた検討を実施。《継続》【十勝バス・拓殖バス】
- ・帯広駅バスターミナルのりばの再編を検討。《継続》【十勝バス・拓殖バス】

## 4 キャッシュレス決済システムの拡充

- ・ウェルネット株式会社のWEB決済による「とちかち空港連絡バス」スマホ乗車券を販売。【十勝バス】
- ・QRコード決済の利用促進及び利便性PRのため、ポイント還元キャンペーン等への参画を検討。《継続》【拓殖バス】

## **【2】乗り継ぎ拠点の設置及び多様な移動手段の活用に向けた検討**

### 1 乗り継ぎ拠点の設置検討

- ・交通結節点における乗り継ぎ拠点の設置について、運行ダイヤ調整や停留所の集約なども含めて可能性を検討。【十勝バス・拓殖バス・帯広市】

### 2 デマンド型交通の利便性向上及び市街地における導入検討

- ・大空団地における「おでかけ楽々便（おおぞライナー）」の実証運行を継続。運行範囲を拡大、AI オンデマンドシステムを導入した実証運行を実施。（再掲）【十勝バス】
- ・路線運行が非効率と考えられる地区におけるデマンド型交通の導入可能性を検討。《継続》【拓殖バス】

### 3 多様な移動手段との連携の検討

- ・JR 北海道、JR 北海道バスと連携した、札幌ー帯広ー様似ー苫小牧を周遊する片道フリーパスチケット「日勝半島物語きっぷ」を販売。（※R4. 4. 23～実施）【十勝バス】
- ・十勝圏二次交通活性化推進協議会における取組として、観光面における路線バスとタクシーが連携したサービス（バス&タクシーパック）を実施。《継続》【十勝バス】
- ・自転車との連携を図るため、路線バスにキャリヤの設置を検討。《継続》【拓殖バス】

## **【3】分かりやすい情報提供の実施**

### 1 バスロケーションシステム等の普及

- ・イトーヨーカドー帯広店内にバスの現在位置がわかるデジタルサイネージを設置。（再掲）【十勝バス】
- ・バスターミナル等のデジタルサイネージにおける遅延・運休などのリアルタイム運行情報の表示及び内容改善。《継続》【十勝バス・拓殖バス】

### 2 分かりやすい時刻表の作成

- ・バス停留所に掲出する情報の改善検討（時刻表の文字拡大、運行系統図設置）。【十勝バス】
- ・病院利用客の利便性向上のため、路線別の乗継時刻表の作成を検討。《継続》【拓殖バス】
- ・平日と休日のダイヤを区分して表示したバス停留所時刻表作成を検討。《継続》【拓殖バス】

### 3 情報提供機能の充実

- ・バスターミナルおびくるのデジタルサイネージによる情報提供内容の充実。《継続》【十勝バス・拓殖バス】
- ・バスターミナルおびくるの AI 窓口の機能改善。《継続》【十勝バス】
- ・帯広駅バスターミナル周辺の案内図等の改善を検討。《継続》【十勝バス・拓殖バス】

### 4 外国人観光客向けの案内表示の整備

- ・バス停留所の外国語対応を随時実施。《継続》【十勝バス】
- ・十勝圏二次交通活性化推進協議会において協議したインバウンド観光対応の問題点や課題について、感染症の状況を見ながら対応を検討（時刻表の多言語化、乗務員向け外国人コミュニケーションツールの作成等）。《継続》【十勝バス・拓殖バス】

## 5 企画乗車券（バスパック等）の利用促進及び検討

- ・バス事業者ホームページや SNS、バスターミナルおびくる等におけるバスパック商品や「VISIT TOKACHI PASS」等の PR。《継続》【十勝バス・拓殖バス】
- ・十勝地域公共交通活性化協議会において、路線バスを活用した新たな旅行商品を検討。【十勝バス・拓殖バス】

### 【4】利用促進施策の推進

#### 1 モビリティ・マネジメント施策の展開

##### 【小学生向け】

- ・市内在住の小学生を対象として、毎月第3日曜日に帯広市内区間に限り無料で乗車できる「バスに乗って見隊！」を実施。《継続》【拓殖バス】
- ・市内の小学校に通う小学生を対象とした、行政、バス事業者等による出前講座「交通環境学習」を実施。《継続》【帯広市・バス事業者ほか】

##### 【中学生向け】

- ・通学におけるバス利用の促進を目的として、高校、専門学校等に進学予定の市内の中学3年生を対象に、路線バスの利用方法や通学方法、環境問題などの動機付け情報を掲載した小冊子を作成・配布。《継続》【協議会事業】

##### 【高校生向け】

- ・通学におけるバス利用の促進を目的として、市内の高校に通学する高校生を対象に、路線バスの利用方法や環境問題などの動機付け情報を掲載した小冊子を作成・配布。《継続》【協議会事業】

##### 【転入者向け】

- ・通勤や日常生活におけるバス利用の促進を目的として、市内転入者を対象に、バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報を掲載した小冊子を作成・配布。《継続》【協議会事業】

##### 【高齢者向け】

- ・日常生活におけるバス利用の促進を目的として、市内高齢者を対象として、バスの利用方法や環境、健康等に関する動機付け情報を掲載した小冊子を作成、配布。《継続》【協議会事業】
- ・大空地区内での「おおぞライナー」利用促進の一環として、大空コミュニティカフェを活用したバスの乗り方説明会の実施を検討。【十勝バス】

※帯広市、バス事業者等が連携して例年実施している帯広市高齢者学級を対象とした出前講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

### 【5】乗務員確保に向けた取り組み

#### 1 交通事業者が取り組む乗務員確保の取組の支援

- ・厳しい業況にある交通事業者において運転手不足が深刻化していることから、ホームページやバス利用促進小冊子などを活用し、交通事業者が実施する運転手募集の取り組みをPRするなど、側面的な支援を行う。【帯広市・協議会】

## 帯広市地域公共交通計画策定調査業務委託 実施内容（案）

### 1. 実施概要

帯広市地域公共交通計画の策定に向けて検討すべき項目として、事務局において以下の内容を想定しています。これらの項目の検討にあたり、必要となる基礎データの調査を行うため、十勝・帯広地域における交通実態に精通するとともに、十勝地域における調査業務の実績がある事業者調査業務を委託するものです。

#### 《検討項目（案）》

- ①拠点化の推進及び拠点化に合わせた路線再編
- ②市内輸送資源の活用や異なる交通モードの連携による旅客輸送サービスの向上
- ③利便性向上と運行効率性が両立する運行方法の見直し（共同運行による効率化など）
- ④運行収支の改善及び公的補助額の圧縮
- ⑤帯広厚生病院の乗り入れ拡大
- ⑥MaaS・AI・自動運転導入検討
- ⑦利用促進事業の継続
- ⑧新型コロナウイルス感染症対応施策の検討

### 2. 調査業務委託内容（案）

#### （1）帯広市の概況整理

住民基本台帳、地域メッシュ統計等の既存の社会基盤情報データを用いGIS分析を行う。

（ア）既存資料・データの収集・整理

（イ）GIS分析

#### （2）公共交通網の現状調査

次の項目により、市内公共交通網の現況把握を行う。

（ア）市内交通機関における運行状況の整理

路線バス、都市間バス、空港連絡バス、デマンド型交通、タクシー、JR、スクールバスなど、市内を運行する公共交通機関の運行状況を把握する。加えて、福祉輸送の実態を既存資料から把握する。調査にあたっては、関係機関と連携し、調査検討結果等の相互共有を図ることとする。

#### 《補足説明》

- R2 改正地域公共交通活性化再生法に掲げる『地域の輸送資源の総動員』の検討のため、網形成計画よりも整理する交通機関の対象を拡大し、福祉輸送の実態調査も追加しています。

（イ）車両台数及び車両設備等の整理

路線バス・デマンド交通車両台数、車両設備（バリアフリー車両等）を把握する。

### (3) 公共交通の利用実態調査

次の項目により利用実態調査を行う。調査にあたっては、関係機関と連携し、調査検討結果等の相互共有を図ることとする。

#### (ア) 現況調査

- ① 路線バス利用実態及び収支状況
- ② 都市間バス及び空港連絡バス利用実態及び収支状況
- ③ デマンド型交通利用実態及び収支状況
- ④ 市内タクシー利用実態
- ⑤ JR利用実態
- ⑥ スクールバス利用実態
- ⑦ 福祉輸送利用実態

#### (イ) 市内路線バス OD 調査

市内バス路線のうち、運行効率化の可能性があると考えられる路線のOD調査を実施し、運行の見直しを検討するための基礎データを取得する。

- ・対象路線：市内運行路線（R3 十勝地域公共交通活性化協議会調査での調査対象外路線）
- ・調査時期：秋期

#### 《補足説明》

- R3 十勝地域公共交通活性化協議会調査の調査・検討結果を活用しながら、当該調査の対象外となった市内運行路線についての調査を行い、運行経路の見直しなどによる収支改善・運行効率化の可能性を検討したいと考えています。
- 調査対象路線は「水光線」、「畜大線」、「自衛隊稲田線」を想定しています。

#### (ウ) 市内路線バス乗降調査

路線バス車両に設置されている乗降センサー等を活用し、路線バスの利用実態を把握する。調査にあたっては、関係機関と連携し、調査検討結果等の相互共有を図ることとする。

- ・対象路線：市内運行路線（R3 十勝地域公共交通活性化協議会調査での調査対象外路線）
- ・調査時期：秋期・冬期

#### 《補足説明》

- 市内の路線バス利用状況について、十勝バスの乗降センサーや北海道拓殖バスの運賃箱データ等を活用し、路線・停留所ごとの利用状況を把握することを目的としています。
- 十勝バスは乗降センサーを設置している車両数に限りがあることから、対象路線を抽出して実施することを想定しています。
- 調査成果のイメージは、路線別・停留所別・時間帯別・平日/土日祝日別・秋冬の集計です。

## (エ) 帯広厚生病院及び帯広駅周辺における路線バス利用実態調査

2018(平成 30)年に移転した帯広厚生病院及び帯広駅周辺における広域路線との結節や路線の短絡、経路見直しを検討することを目的として、施設利用者の路線バス利用実態を把握する。なお、本調査にあたっては、関係機関と連携し、調査検討結果等の相互共有を図ることとする。

### 《補足説明》

- 帯広厚生病院移転後、通院するために乗り継ぎが発生した地域の住民から路線改善の要望があったことから、帯広厚生病院を経由する路線の改善について検討します。
- 調査にあたっては、R3 十勝地域公共交通活性化協議会調査事業における地域間幹線系統の利用実態などの調査結果を活用し、路線再編検討の基礎資料とします。

## (オ) 住民ワークショップ

利用者数や運行便数が少なく、運行効率化の可能性があると考えられる路線の沿線住民や、最寄の鉄道駅はあるが路線バスでのアクセスが困難となっている J R 柏台駅周辺の利用者等を対象とした、公共交通へのニーズや改善策、利用促進策等の把握を目的とした、ワークショップ形式による意見交換を実施する。

- ・ 調査対象：水光線沿線エリア住民／国道 38 号北側の中・療養所線沿線地域住民

## (4) 地域公共交通計画とりまとめの支援

上記調査に基づき帯広市地域公共交通活性化協議会において実施する地域公共交通計画のとりまとめ及び計画素案作成に係る以下の事項について、提案や助言、内容確認などの支援を行う。

### (ア) 課題の整理及び基本方針の検討支援

交通ネットワークにおける課題（交通空白地、路線重複、需要変化、乗継利便性等）、ハード面での課題（待合環境の改善、利用不安の解消等）、ソフト面での課題（情報提供の課題、乗り継ぎ拠点及び交通結節点での情報提供あり方等）の整理、及び基本方針検討の支援。

### (イ) 計画の目標及び目標達成のための施策の検討支援

計画の目標設定、及び目標達成のために実施する交通ネットワークの再編（旅客輸送サービス確保に向けた市内交通機関・輸送手段の活用、市内拠点施設へのアクセス性向上、路線バス間及び JR との結節向上等によるネットワークの充実、ニーズに応じた運行方法の検討、農村部からのアクセス性向上 等）、ハード整備の実施（乗り継ぎ拠点整備、バリアフリー車両の導入推進、MaaS・AI・自動運転等新たなモビリティサービスの活用、バス停留所更新・改善 等）、利用促進の実施（観光情報等を中心とした二次交通活性化方策、モビリティ・マネジメント教育、住民モビリティ・マネジメント 等）に関する施策検討の支援。

### (ウ) 計画素案作成支援

(ア) 及び (イ) にて整理した課題や基本方針、目標及び目標達成のための施策に基づく「帯広市地域公共交通計画」素案作成の支援。

## 令和4年度 帯広市地域公共交通計画策定スケジュール（予定）

| 年月日                 | 内容   |
|---------------------|--|
| R4. 4. 19           | 第1回協議会（書面協議）<br>《協議事項》<br>協議会規約等改正／学識経験者招聘／計画策定スケジュール／<br>国庫補助申請 |
| R4. 7. 7            | 第2回協議会（書面協議）<br>《協議事項》<br>帯広市地域公共交通網形成計画総括／R4 事業計画／R4 収支予<br>算   |
| R4. 7. 22           | 第3回協議会《今回会議》<br>《協議事項》<br>公共交通維持確保の取組／計画策定調査委託業務実施内容             |
| R4. 8 月上～中旬<br>（予定） | ・受託事業者選定<br>・調査内容・スケジュール等調整（受託事業者・交通事業者等）                        |
| R4. 8 月中旬<br>（予定）   | 第4回協議会<br>《協議事項》<br>調査業務委託事業者報告／調査内容・スケジュール説明 等                  |
| R4. 8～R5. 1<br>（予定） | ・調査業務実施  |
| R4. 11 月下旬<br>（予定）  | 第5回協議会<br>《協議事項》<br>調査結果中間報告 等                                   |
| R5. 2<br>（予定）       | 第6回協議会<br>《協議事項》<br>調査結果報告／計画素案内容確認 等                            |